

平成17年度第1回試行の川崎区区民会議 会議録

日 時 平成17年7月26日(火) 午前10時

場 所 川崎区役所7階第1会議室

出席者

別紙名簿のとおり

議題及び公開・非公開別

- (1) 区民会議の制度について(公開)
- (2) 川崎区の課題について(公開)
- (3) その他(公開)

傍聴人数

2名

会議内容

午前10時 開 会

1 開会

総務企画課長

2 あいさつ

川崎区長

(司会から出席者紹介)

3 説明

事務局から会議公開、資料確認、要綱の説明。

4 議長及び副議長の選任

要綱第6条により、議長1名、副議長1名を委員の互選により選任。

委員より、議長に弾塚委員、副議長に平田委員が推薦され、全会一致で承認された。

議長及び副議長就任のあいさつ

(議事進行を議長に交代)

5 議題

( 1 ) 区民会議の制度について

事務局から資料 1 に基づき説明。

質問・意見なし

議長からこの議題については次回の会議でも意見を伺う時間を持ちたい旨発言あり。

( 2 ) 川崎区の課題について

事務局から資料 2 - 1 に基づき説明。

大師第 1 地区民生委員協議会の小林さんから子育てサロンなどの活動について発表。

委員 ただいま大変なご努力を伺わせていただきましたが、私も孫が生まれ、最初に預かった段階でどうして抱いたらいいのか、最初は不安がありました。先ほどもお話がありましたが、こういう場や施設ができるだけ、身近なところで目に入るように、行きやすい状況にしてはいかがでしょうか。例えば病院などは、必ず 1 カ月健診や 3 カ月健診、予防接種などを実施しているので、そういうところに手軽に手にとることのできるパンフレットを置くなど、工夫をしてはいかがでしょうか。やはり町内の掲示板というのが一番いいかと思いますが、身近に目に入る場所にどんどん置いていただければいかがでしょうか。

事務局 先ほどの活動発表にもありましたように、行政の情報だけでなく身近な活動もホームページなどに載せたいと私どもも考え、「子育てガイドさんぽみち」というのを作成し、新しく市民になった方たちに配付しております。今ご質問があったような、もっと小さな役立つ情報、行政が直接やっていないような情報をどの程度入れるかというところがなかなか難しいのですが、ホームページや「子育てガイドさんぽみち」をさらに充実していきたいと考えております。

また、配付先につきましては、行政の情報をどういう形でどういう場所に配るかということは、子育ての情報ばかりでなく以前から大変課題になっていきますので、ご意見をいただきながら、必要とする方たちのところに確実に届くよう努力していきたいと思っております。

委員 私どもも田島の民生児童委員協議会といたしまして、「子育てサロンたじま」というのをやっております。今お話ありましたように、募集するに当たってどうしたらいいかということは私どもも課題となっておりますが、お母様方は口コミで、仲間であらっしゃるといふことが多いように見受けられます。私どもは愛泉ホームをお借りして活動しておりますので、もしご近所にお子様連れの方がいらっしゃいましたら、行ってごらんと一言お声をかけていただけたら大変ありがたいなと思っております。

また、サロンにお母様方がお子さんを連れてきた際は、私どもは親子を離して、親がほっとする時間をつくれるようにしていますが、いつの間、子どもさんと離れて、自分の時間というのがあるということで、大変喜んでいただいております。3歳ぐらいまでの子どもさんをお預かりするのですが、その期間というものは本当に短い時間で、あのお子さん見えないなと思うと、もう3歳になっちゃったということで、ちょっと寂しい思いもしますが、短い時間の触れ合いの中で、お母様方が虐待とかそういうものに向かわないように、少しでも応援ができたらなと思っております。

委員 子育てという場面を、予防的見地で、これからお母さん、お父さんになる方にもそういうところを見てもらえたらいいなと思います。自分で赤ちゃんを産むまで赤ちゃんを見たことがないという方がほとんどだと思いますが、母性というのは先天的に備わったものではないので、ちゃんと勉強しないと子育ての能力は育たないですね。赤ちゃんが生まれてからそうやってみんなで勉強するのもいいですが、もっと若いうちに赤ちゃんに触れ合うという機会がなくなってしまったので、このような子育てサロンに中学生とか高校生が遊びに来れるような体制ができたらいいいと思います。そうすると、この虐待とか若年妊娠とか、いろいろな面でもよくなっていくのではないのでしょうか。赤ちゃんとの触れ合い体験というのは、神奈川県産婦人科医会で行っていますが、女子高校生に産婦人科の医療機関に行っていて、赤ちゃんをだっこしたり授乳や沐浴の状況を見ていただき、母性を深めていただいて、育児について関心を持っていただくというのを若いうちからやっていただけると嬉しいと思います。

委員 私は、大島という地域に住んでおりますが、大島は児童公園また小中学校が充実されていまして、最近向小付属幼稚園の跡地に「子育て広場（子育て支援センター）」というとても恵まれた施設ができました。その「子育て広場」がとてもにぎわっているのを見まして、先ほどの大師、川中島の方も充実しているなと思いましたが、月に何回開催とかというと、つい親御さんたちは忘れてたり、子どもの健康状態や親の都合で行かないこともあると思うのです。「子育て広場」は、毎日開催でプロの方が2人必ずいて、安心して遊べる幼稚園の園庭、園舎、それから先生方のアドバイスがあり、とても充実しています。お父さん方が「子育て広場」で遊びたいけど、きょうは閉園だねとか、またはそういう場に行きたいなという声がたくさんあるそうです。公園や図書館など、土日開いているところはたくさんありますが、「子育て広場」も土日開いていければいいなという声を昨日聞きました。

自宅近くの図書館としてはプラザ田島がありますが、お子さんと本を選びに行くと、子どもって2、3歳まではどうしても声を出してしまうそうなんです。そんなときに、「静かに」というような目線を浴びてしまうと、お母さんも嫌な気持ちになって、子ど

もをつい怒ってしまうそうです。とても年齢が小さい子に静かにと言っても難しいので、図書館の中にも小さいお子さんと楽しく絵本が読めるプレイルームのような場所が欲しいなという声もありました。

また、駅周辺のバリアフリー化のことですが、健康な人や障害者の人はもちろんですが、「駅から降りるときにエレベーターがあればいいな、ぜひたくですが」という若いお母さんの声も聞いてきました。川中島子育てパークではマッサージ師の方がボランティアをしているというのを今日私も初めて知りましたので、これをまた私が口コミで流すと、きっと私の知り合いの若いお母さんたちは行くと思います。できるだけこういう情報をみんなに流してあげるのも、区政推進会議委員の役目かなと思います。

委員 小さいお子さんの話が随分出ていますが、今、教育文化会館では「子どもの居場所」という行事をやっていて、非常に多くの子どもたちが川崎市全体から集まってきています。教育文化会館の使える日に実施している関係で定期的ではないのですが、子どもたちの集まりがいいときは大勢来る、来ないときは少ないという状態です。これが常時、毎月第何日曜日とか、こういうふうに決められれば非常にありがたいと思います。この中に集まって来る子どもたち、そしてまたボランティアでいろんなことをやっていただいている方々がいろんな遊びを教えたり、小さい子どもたちに子どもが教える、こういう姿がこのところ目立ってきております。この場では大分小さいお子さんの話が出ていますけれども、さらにそういったことにつながっていけば、より広い場になってよかったと思っています。そういう意味では、今行っております「子どもの居場所」づくりの実行委員会へのこれからの期待が非常に大だなどつくづく感じたところです。この中に小さいお子さんがさらに入ってきて、子どもたちが子どもをさらに見るといって、こういった世代的な流れが出てくれば、この居場所づくりということも非常に効果が上がってくるのではないかと思います。

委員 私は食生活改善推進委員に関わっております。ただいまお話が出ましたが、教育文化会館ではいろんな催しがあり、11月末に「子育てフェスタ」という一つのイベントが開催されます。先ほど委員の皆様から「口コミ」という言葉が出ましたが、私も全くこれに同感で、特に女性は、こういうのがあるとか、赤ちゃんができた、かわいいね、2人目もいいね、3人目もいいね、などと、地域で声をかけるということがすごく大事な最近つくづく思っております。

委員 子育てについては、「母親クラブ」というのが各地区にいろいろとありますが、どうもその数が減少しつつあるというのが現状で、大変問題と考えております。確かに、働く親が子どもに構ってあげられる身近な場所としては公園が代表的ですが、サッカー

一、野球、ゲートボールなどさまざまに遊べるようになっており、そういった中では子育て中の幼児等の遊びの場が公園から追い立てられているように思います。

また同時に、公園の環境整備等については、犬、猫のふん、いわゆるマナーによって清潔な状態にさせることが大切です。提案ですが、障害者のための盲導犬を巡回させ、定期的に公園で幼児に見せてあげて、生き物に対する考え方や生き物との接し方を通じて、子どもたちと親とのかかわり合いにつなげていっていただければ、これも子育てに対する心の持ち方について実質的な教育になるのかなと思います。ぜひ身近な場で近くの子どもたちとの接点をつなげて、豊かな心に育て上げるということを行政も考えていただきたいと思います。

委員 年々子どもが少なくなってきましたけれども、保育園に入れないうちの子どもが大変多いと聞いております。子どもが少なくなっている現状において、今どのようなことになっているのか。また、国際化の時代の中で外国人の方が大勢住むようになって来ていると思いますが、そうした外国人の子どもを保育園が受け入れるような体制についてお聞かせいただきたいと思います。

事務局 健康福祉局の集計によりますと、平成17年度のいわゆる待機のお子さんにつきましては、全市で597名、川崎区はそのうち154名という数で把握しているそうです。待機のお子さんにつきましては、非常にいろいろ問題になっており、健康福祉局としては、平成19年度までに認可保育所の整備、あるいはまた認可外保育施設の認可、あるいは認可外保育施設等の拡大、さらには定員を超えた受け入れ等で平成19年度までに待機児童の解消を図る計画を立てていると聞いております。

外国籍のお子さんの件については、先ほどご説明させていただきましたが、川崎区の特徴といたしまして、外国籍、あるいはまた外国の文化をアイデンティティーとするお子さんが非常に多いということがあります。極端に言うと、学校へ行っても1クラスに1人ぐらい外国の方かなというようなお子さんが目につくほどです。先ほど小林さんからご説明がありましたが、こういった外国籍のお子さんの保護者の方の集まりをされているボランティア団体の方もいらっしゃいます。

そういう方たちはどういう形で情報を入手できるのかということですが、一つはインターネットです。また、パンフレットでも、平仮名のルビが振ってあると、よくわかるということです。外国籍の保護者の方については、なかなか言葉が不自由という中で社会に出ていきませんが、必ず地域の商店、スーパーマーケット等にはほとんど毎日行くというようなことですので、地域にご協力をいただいて、広報の一つの手段として、スーパーマーケットとか商店にそのようなチラシを置いていただくことも一つの方法かと考えております。

委員 時代が変わり働くお母さん方が増えたというのが率直な印象です。どうしてもお子さんを保育所とか、よその方に預けるということになると思うのですが、なかなか思うような施設がない。今までお話を聞いていたところでは広報の問題が多くありましたが、やはり口コミなり、隣近所という昔ながらの町の輪と申しましょうか、安全その他を考えながら広報する以外ないと思っています。

事務局から資料 2 - 2 に基づき説明。

川崎駅東口放置自転車対策実行委員会委員長の荒金氏から自転車整理の活動発表。

委員 直接川崎区とは関係ないと思われませんが、現在行われている J R 川崎駅西口再開発に伴い、どのような駐輪場対策が考えられているのでしょうか。川崎区としても参考にしていただけたいのではないかと思います。これだけ工事が進んでいるわけですから、西口の方の駐輪場対策は当然いい考えが発表されているのではないかと思います、いかがでしょうか。

事務局 西口の再開発に絡む駐輪場については、公共用駐輪場として約1,000台の駐輪場を設置する予定になっております。そのほかに様々な施設ができますが、その施設に対する来客用の駐輪場も別個にあり、それぞれ必要な駐輪場の台数を設けた形の再開発になっているということです。

委員 先ほどの発表を参考にしての感想と提案ですが、保管場所が塩浜ということで、川崎区は非常に遠いと思います。私も子どもと一緒に何回か行ったことありますが、環境も悪く、不便です。保管場所は1キロぐらいのところにあるといいなと子どもがいつも言っています。また、国道15号から川崎駅の間は、自転車乗り入れ規制をかけてもいいのではないのでしょうか。現在、国道15号に国土交通省が自転車通行帯をつくっていますが、自転車を全部国道15号周辺で保管や管理ができないのでしょうか。駐車場やオートバイの駐輪場が駅には不足していますので、学生や親子連れに自転車に乗るなというのはやはり無理だと思います。我が家でも家族で出かけるときはほとんど自転車に乗って駅に行きますので、自転車には大いに乗っていただいて、安全に買い物をして、通勤通学してもらおう、そういう方策を考えていただきたいと思います。「みんなでバスに乗りましょうとなったら、多分バスが満員になって車がつながって遅刻しちゃうよ」というのが子どもの意見です。川崎駅周辺で安全に自転車を利用していただき、マナーも守っていただければよいのではないのでしょうか。私はガイドヘルパーや観光ガイドをしています

すので、街を新聞記者の方や障害者の方と車いすで歩いたことがあります。そのときは放置自転車の撤去日と重なっていたものですから、午後1時半頃、非常に駅前がすいていまして、さいか屋前、ダイス周辺、京浜急行の周辺が非常に歩きやすかったのです。でも普段は視力障害者の方も車いすの方もその場所が一番通り抜けできないので、やはり自転車以外でもスムーズに通り抜けしやすい駅前であってほしいと思います。また、車いすの方や自分たちには石畳が非常に不便だということで、駅前のバリアフリーとともに考えてもらいたいという意見がありました。

委員 駐輪場につきましては、商工会議所でも、駅前の商店街、また利用者からもいろいろ苦情が出ております。たしか新聞にも出ておりましたが、全国のワースト30の中に川崎が四つぐらい入っていて、100の中にすべて入るという状況です。ある会合での話ですが、市長さんもよく言われるように川崎は非常に技術水準が高いということ言われますが、モラルは最低じゃないかという話も出ました。今の説明の中で駐輪場の稼働率のこともありましたが、今のご意見のように、もう少し近いところに保管所があって、放置した自転車を自分を取りに行って、お金を払って、自分で出していく、ということ習慣づけることが一番いいのではないかと考えております。

先程もお話しがありましたように、自転車利用者の方もこの日は大丈夫だから置いてしまおう、というようなことはあると思います。車の場合も同じです。ここの通りで警察の指導があるときには大体曜日が決まっています、この日は大丈夫だよなんていうことを言っている人もいるぐらいですから、車でも同じようにちょっと、ということで、駅前は夕方にバスが込むんです。ウィークデーぐらいは、アゼリアの駐車場に30分ぐらいは無料で置かせれば、また大分違うのではないかと思います。

話がそれましたが、駐輪場については、JRともいろいろ話し合っていて、もっと近いところに何らかの方法で少し場所を設けてもいいのではないかと思います。40%ぐらいの方が撤去された自転車を取りに来ないということですから、取られたという印象だけが残ってしまうのではないかと思います。

事務局 利用率の関係ですが、若干余裕のある場所は、JRの東口自転車等駐車場と民営の京急川崎駅ヨドバシカメラ脇の駐輪場です。これらは少し不便な場所だということで余裕があるようです。その他の駐輪場は、ほとんど満杯という状況です。

また、川崎駅東口については、現在、まちづくり局を中心に「川崎駅周辺総合整備計画策定協議会」という検討会を設置し、駅前周辺のまちづくりについて協議しておりますが、その中で自転車駐輪場につきましても協議することになっております。詳細についてはまだ決まっておきませんので、決まり次第ご報告したいと思います。

委員 自転車のことにつきましては、まちづくりクラブで10年来やってきていますが、一向に解決しません。というのは、これは警察だ、ここはJRだ、これはどこだ、と言って、いつもいつもたらい回し的なことをして、そして最後は金がないということになってしまいます。これでは抜本的な解決になりません。また、自転車だけではなく、はみ出し店舗、はみ出し広告、こういったものを一体的に考えていかないと、自転車だけを目のかたきにしてもだめだと思います。

現在、自転車にしましても、午後のさいか屋前あたりは災害があったときはどうしようもない状態であるわけです。ですから、我々まちづくりクラブの方では、大胆ではありますが、JRの上に駐輪場をつくってはどうかと提案しました。そして、今の時代ですから、上の駐輪場から駅へ降りられるぐらいの構想はあってもいいんじゃないかと思うわけです。といいますのは、JRにおいては、渋谷や新宿の駅の大改装を大々的にやっています。それほど需要がないような蘇我や船橋の駅を大改造しています。同じようなことを川崎の駅でやれば、何らかの知恵が生まれてくると思います。一番バリアフリーがなされていないのはJR川崎駅です。エレベーターもない。エスカレーターも1基あるだけです。

また、我々がガイドをしていて一番問題として出てきているのは、アゼリアからバスの島に上がる不便さが非常に言われています。現在、アゼリアの地下街で我々は案内をしていますが、バス停がわかりづらい、川崎が非常に汚い、放置自転車が多過ぎる、駅前の広場が狭い、これを来訪される方がみんな指摘しております。こういった面は、もっと大胆な大きな目で川崎の駅前を改良しない限り、川崎の顔と言えないと思いますので、ぜひともお願いしたいと思います。

ちょっとつくりました、それでどうだということではなく、はみ出し店舗、はみ出し広告、そういったものを合わせて総合的に自転車対策を考え、ぜひとも改善をお願いしたいと思います。

委員 関連した意見ですが、私もたまたま商店街の関係者で、そういった品物のはみ出し、あるいは自転車等に大変苦慮しています。店舗のはみ出しについては、明らかにそこに所有者がいるわけですから、警察の取り締まりについては、かえって商店の側に対する配慮がもうちょっとあってもいいのかなという現状を聞いております。

また、自転車等については、最近は高層マンションも多くなり、そこに住む方々の足として、確かに自転車は便利なものとして利用されています。ところが、そのマンションに住んでいる世帯では、自転車1台ならともかく、自転車を3台も4台も放置しているのが見受けられます。夜間になりますと、堂々と商店の前の道路に置いているんです。たまたま私の目にとまったところでは、何人かの人から会社から帰った後、商店に寄るでもないのに堂々と置いて、そしてさっさと町の中へ消えていったことがありました。

自動車については規制がされていますが、自転車についてはまだ規制がゆるいと思います。先ほども公園に放置するという問題がありましたが、堂々と公園に置いて、朝それを利用するという現状もあるわけです。公園の中の問題は公園課、公園の外は道路課ということで管轄が分かれています。横のつながりはどうやっていくのでしょうか。マナーの問題ということであるなら、区内の方々にとって必要な台数はどのくらいなのか、そういったところまで踏み込んでいかなければ、自転車の問題というのは恐らく解決できないのかなと思っています。

先ほどのお話のとおり、駅前が多少整備されましたが、自転車は一体どこに行くのか、次なる場所に置かれている周辺の人たちは、一体どのような対応をするのか。恐らくイタチごっこになることも考えられます。西口に1,000台置くと考えているのであれば、当然北口にもある程度必要な経費を投じて、自転車駐輪場所も考えておくべきだと思います。

事務局 自転車対策については抜本的な解決が難しいところですが、今年度組織の再編がありました。これまで本庁の建設局が一括して自転車対策をやっていたわけですが、今年度各区役所に「身近な環境整備」という形で、自転車対策を担当する主査が設けられています。その中で、各区役所において自転車等対策協議会を立ち上げ、総合的な窓口となって協議していくことになっております。川崎区におきましても、近いうちにこの対策協議会を立ち上げ、自転車対策について取り組んでいきたいと考えております。

参与 今日は私どもも本当にいろんな形でお話しを聞かせていただき、大変参考になりました。基本的には、今結論を出すとか出さないとかという問題ではないと思いますので、いろいろご意見を聞かせていただいて、この会議の中で実践できるものについては私どもも一生懸命応援をしていきたいと思っています。

今日も本当にそういう意味では、子育ても自転車対策も大変重要な問題で、皆さん方も聞いていて大変参考になったのではないかと思いますので、会議を2回、3回と進めていただいて、そしてぜひ実のあるものにしていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

参与 今日は、お集まりの委員の方々の貴重なご意見を伺いました。一つは、先ほど川中島の小林さんから事例発表の中でいろいろご苦労いただいている一端がございました。行政もいろいろと取り組みをしていますが、やはり一般の方々に対する理解と宣伝は、そのボランティア活動の中で参加いただく方々に広く進めていくことが大切ではないかと思っています。行政に依頼しても、「市政だより」などでは時間がかかってしまうのではないかと思っています。

大師で「ひまつぶしの会」というのがございます。障害者、高齢者、お子様をお持ちの方々、回を重ねるごとに、大勢の方々が大師ランチ前の保健所跡地の中で取り組みをされておりますが、会場いっぱいの参加があります。それは、やはり参加される方々に、次回はお知り合いの方に声をかけるという形でだんだん広がっている状況があります。その礎となった一つは「縁側」の組織力だと思います。福祉の町、川崎区に「縁側の会」として、音楽のまちが披露発表されたわけですが、保健所の所長さんも参加されて、大変立派なごあいさつをいただいたわけです。こういう面で考えると、総体的に21世紀の地域における活動は、行政ではなく、地域の皆さん方、ボランティアを軸にしながら取り組むことが、何よりも大きく広がりながら、効果と呼ばれる課題ではないかと思えます。

駐輪対策については、荒金さんから大変ご苦労されている一端のご紹介がありました。雨の日も寒い日も暑い日も、黄色いジャンパー、赤いジャンパーの方々が取り組まれる姿を時折見ながら思っているのは、先ほどお話があるように、ボランティアの皆さん方も、そろそろ限界ではないかと。西口はどんどん整備をされていきますが、東口は、セメントと鉄で動きがたい今日の状況です。

昭和40年代終わりに京浜急行本線は高架が完成いたしました。これは、大正の初めに京浜急行本線を将来的に高架にするときは、京浜急行主体で進めるといったやり取りがありました。当時のお金で19億6,000万近い金額を京浜急行の負担はもとより、神奈川県、川崎市及び国も負担して完成したわけです。京急川崎駅前の駐輪場は立派に整備されておりますが、さいか屋と太田病院の間の高架下は自動車の有料駐車場になっております。これを一つ解決することも行政側の次の課題ではないかと思えます。雨の日も風の日も荒金さんを中心にボランティアの方々が駐輪対策を行っているわけですが、お互いにできることから手をつけながら、八丁畷に至る高架下の利用について、もう少し手短かに改善を行うことも考えなくてはならないと思えます。

アゼリアの地下駐車場をもう少し工夫をすればというお話がございましたが、私どもは、早い時間にその下を利用するわけですが、比較的すいていますので、もう少しアゼリアの駐車場の中に駐輪対策をとればいいのではないのでしょうか。利用階段がきついというお話もございましたが、伊藤市長の言葉ではないですが、健康のために少し階段を歩くことも思い出せば、このアゼリア駐車場は容易に直ちに組み入れる内容ではないかと思えます。

いずれにしても、今日はそれぞれ地域で体験されている関係の方々の努力の一端が披露されております。今日ご一緒しております杉山県議ともども、これから県にあるいは警察にこうしたお話を伝えるため、メモをとりながら勉強させていただきました。貴重なご意見をいただいた皆さん方に感謝いたします。ありがとうございました。

( 3 ) その他

〔 発言する者なし 〕

( 事務連絡及びお礼 )

午後 零時 9 分 閉 会

試行の川崎区区民会議委員名簿

(任期 平成18年3月31日まで)五十音順 敬称略

氏名	分野	推薦団体	出欠
ウオ ッ トシ オキ 魚津 利興	商工業	川崎商工会議所	
オサムラ ノブユキ 長村 信幸	行政	川崎市立中学校校長会	欠席
カナイワ イサオ 金岩 勇夫	文化	川崎区文化協会	
サダモト カズオ 貞本 和男	労働	川崎地域連合	欠席
シマダ エイコ 島田 榮子	知識経験者		
シマダ ジュンジ 島田 潤二	福祉	川崎区社会福祉協議会	
ダン ツカ マコト 弾塚 誠	住民自治組織	川崎区連合町内会	
ナカムラ ルコ 中村 紀子	区民		
ニシカワ キミコ 西川 キミ子	区民		
ヒラオカ ジュンコ 平岡 順子	知識経験者		欠席
ヒラタ 順子 平田 順子	知識経験者		
ヒルマ ヒロシ 蛭間 寛	区民		
モリ 効 スケ 森 教祐	体育・こども・スポーツ	川崎区体育指導委員会	
ヨシムラ ヤスヒロ 吉邨 泰弘	保健・衛生	川崎区医師会	

試行の川崎区区民会議参与名簿

(任期 平成 18年 3月 31日まで)五十音順 敬称略

【市議会議員】

氏名	所属会派
<small>イツカ マサヨシ</small> 飯塚 正良	民主・市民連合
<small>イワサキ ヨシユキ</small> 岩崎 善幸	公明党
<small>コバヤシ キミコ</small> 小林 貴美子	公明党
<small>サカイ ヨシノリ</small> 栄居 義則	民主・市民連合
<small>サカモト シゲル</small> 坂本 茂	自民党
<small>サノ ヨシアキ</small> 佐野 仁昭	共産党
<small>シマザキ ヨシオ</small> 嶋崎 嘉夫	自民党
<small>ニシ ジョウジ</small> 西 譲治	民主・市民連合
<small>ハマダ マサトシ</small> 浜田 昌利	公明党
<small>ハヤシ ヒロミ</small> 林 浩美	自民党

【県議会議員】

氏名	所属会派
<small>スギヤマ ノブ</small> 杉山 信雄	自民党
<small>タケダ イク サブロウ</small> 武田 郁三郎	社会民主党

試行の川崎区区民会議関係職員名簿

氏名	所属 役職名
ナガサカ キヨシ 長坂 潔	区長
タカハシ コウジ 高橋 廣二	副区長
スガワラ キョウイチ 菅原 恭一	こども総合支援担当参事
ムラタ キョウスケ 村田 恭輔	区民サービス部長
フジウ ミチコ 藤生 道子	保健福祉センター 所長
フジタ タカシ 藤田 隆至	保健福祉センター 副所長
ヨシダ ミル 吉田 稔	大師支所長
クリハラ セイイチ 栗原 誠市	田島支所長
テツカ タケオ 手塚 竹夫	建設センター 所長
イシイ マコト 石井 誠	総務企画課長
マエハシ マサトシ 前橋 正敏	地域振興課長
ヤマモト アツシ 山本 篤	地域保健福祉課長
キワタ カズオ 木綿 一男	保健福祉サービス課長
ミマ カズコ 美馬 和子	こども総合支援担当主幹
ナツイ マサル 夏井 賢	こども総合支援担当主幹
ゴウ タカオ 後藤 孝雄	建設センター 工事課維持係長
キタザワ ヒミ 北沢 仁美	総務企画課企画調整担当主幹
ヤマザキ ヒロシ 山崎 浩	総務企画課企画調整担当主査
ヤジマ ヨシロウ 矢島 吉朗	総務企画課主査
ナカハラ マリコ 中原 真理子	総務企画課主任
コマツ コウ キチ 小松 宏吉	総合企画局政策部主幹
コバヤシ テツ キ 小林 哲喜	建設局自転車対策室主幹